区分

基本目標

基本事業

整理番号

事務事業名

期

基 施

画

画体系 本計

平成20年度実績事務事業評価シート

生涯学習の推進

学習内容の充実

」単年度 ✓ 単年度繰返し

事業種別

称

豊かな心と創造性あふれる人材育成の まちづくり

01-100502002-01

成人教育事業

コード

3

2

1	Δ	<u>-ر</u> ب	F,	١
١.	п	_	17.	,

細々目

枝番号

(Aシー	· ト)	//	作成日: 平成21年7月1日				
		. ,			灭21年7月	11月		
;	般		事業	態様	刹	迷続		
区分	コード		名	4	弥			
会計	1	一般						
款	10	教育費						
項	5	社会教育費						
目	2	社会教育振興	費					
細目	2	成人教育事業						
細々目	1	成人教育事業						
枝番号								
	事業の	□ 有						
根拠沿	去令等	✓ 無						
期	間限定複	夏数年度	(年度	~	年度)	1	

事業概要

事業期間

生涯学習のきっかけづくりや住民相互のコミュニケーションの場を提供し、趣味の多様化に伴い新しい内容の講座を設 け、住民のニーズに応える。

計画等での 位置付け

✓ 総合計画 前期基本計画主要事業	担当部	7課等 教育部	中央公民館
自主的財政健全化計画 基本計画・	構想・新規事業 担当	i係 社会教育係	記入者 渡辺 徳美
平成20年度重点事業	— <u>;</u>	次評価者 (課長等名)	潘井 正弘

1 行動方針 (PLAN)

	1 391/J 12 (1 LIIII)					
事	対象 (誰を、何を)	市民				
業	意図→目指す成果			区分	指標名	単位
目的	(対象をどのよう な状態にしたいの か)	(生) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大	\Rightarrow	成果	① 参加教室の増加	回
				指標	② 開設教室数	旦
	r cn.			区分	指標名	単位
	手段 (事業の具体的な			活動	① 参加人数	人
ŀ	内容、手順等)			指標	2	

2 実施 (DO)

○重業費と財源の堆移

年度	平成20年度(注	決算)	平成21年度(決算)	平成22年度(決算)	
区分	経費	金額	経費	金額	経費	金額
		(千円)		(千円)		(千円)
	報償費	269				
	需用費	23				
直接事業費						
		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,				
	①事業費計		①事業費計		①事業費計	
人件費	②人数(年)		②人数 (年)		& 人数 (年)	
	③平均人件費		③平均人件費		③平均人件費	
	4=2×3		4=2×3		4=2×3	
総事業費 ①+④		2,874				
	国庫支出金					
財源内訳	県支出金				\	
	使用料及び手数料					
	地方債			1,2		
	その他					
	一般財源	2,874				

○事務事業の実績

	指標名		単位	平成20年度 (実績)	平成21年度	平成22年度	平成25年度 (目標年度)
活動指標	1	参加人数	人	152	160	165	170
伯男相保	2						

本宮市行政評価システム

○事務事業の成果

		指標名	単位	平成20年度 (実績)	平成21年度	平成22年度	平成25年度 (目標年度)		
成果指標	1	参加教室の増加	旦	53	55	60	70		
八木1日示	2	開設教室数	田	12	15	20	30		

3 評価 (CHECK) 【1 次評価】

	【1 次評価】							
		項	目	区 分		選択理由の説明	項目評価	
目的妥	1	意図が政策 びついてい	・施策体系と結るか?	 結びつかない✓ 結びついている		学習機会の拡充及び活動の充実が図られる。	✓ 適切✓ やや不適切	
妥当性	2	市が行うべ き) 事業か	き (関与すべ ?	✓ 行う必要がある☐ 行う必要がない	\Rightarrow	生涯学習のきっかけづくりのため、必要である。	□ 不適切	
有効	1	目的を達成 (実施方法)	するための手段 は有効か?	✓ 有効である○ やや有効でない○ 有効でない	\Rightarrow	市民のニーズを的確に把握して、学習意欲を高める ため、有効である。	✓ 適切 ○ やや不適切 ○ 不適切	
姓	効 性 2 成果指標の目標値の達成状 況は?		目標値の達成状	✓ 順調である○ やや順調でない─ 順調でない	\Rightarrow	各種講座に積極的に参加している。		
効束	1	投入した事 見合った効 るか?	業費又は人員に 果は得られてい	✓ 得られている○ やや得られていない○ 得られていない	\Rightarrow	市民の学習意欲の向上のためにも効果は得られている。	✓ 適切	
坐性	壮		法で実施されて	✓ 実施されている○ やや実施されていない○ 実施されていない	\Rightarrow	趣味の多様化に伴い、多種多様の講座を開催している。		
公平性	1	> 4 mm /- > 11	担が適正かつ特 団体に偏ってい	■ 馴染まない✓ 適正である□ やや適正でない□ 適正でない	\Rightarrow	受益者負担の原則で実施している。	✓ 適切 ○ やや不適切 ○ 不適切	
[:	【2次評価】							
\vdash						意 見		
公平性	1 2 次	効率的な方いるか? 受益者の負定の個人やないか? 本評価 本評価	担が適正かつ特	✓ 実施されている○ やや実施されていない○ 実施されていない○ 馴染まない✓ 適正である○ やや適正でない	\Rightarrow	趣味の多様化に伴い、多種多様の講座を開催している。	✓ 適切□ やや不適り	

全体評価	意 見
適切	
□ やや不適切	
一 不適切	

4	4 評価による行動(ACTION)								
		【1次評価】		【2次評価】					
	今後の方向性	方向性に対する取り組み (課題と解決方法等)	今後の方向性	方向性に対する取り組み (方針の指示)					
2 0 年度	□ 廃止・休止 □ 完了・終了	市民の多様化する学習ニーズに応えるため の講座の充実を図る。	拡大・重点化手段等の見直し現状継続廃止・休止完了・終了						
19年度			拡大・重点化 手段等の見直 現状継続 廃止・休止 完了・終了						
18年度			拡大・重点化						